

# 船坂新聞

2009.2.08 第5号

発行：船坂新聞倶楽部

<http://homepage3.nifty.com/nishinomiya-funasaka/> mail funasaka.moriagetai@gmail.com

## 2月14日(土)は 船坂小学校「アートインふなさか」へ行こう!

船坂小学校の子どもたちが、元気に頑張っています  
今週の土曜日、第9回「アートインふなさか(舞台編)」が開催されます。11月の「アートインふなさか(展示編)」に引き続き、『心をついに!船坂っ子』をテーマに、音楽学習の総合的な表現活動が発表されます。地域の皆さま、寒さ厳しい中ですが、子どもたちのみずみずしい感性と学習の成果を参観し、励ましの言葉をかけましょう!!

日時 平成21年2月14日(土) 9:30~11:30  
場所 船坂小学校体育館



### プログラム

- |                         |                         |
|-------------------------|-------------------------|
| ①オープニング「明日は晴れる」(全校生・職員) | ⑨学校長あいさつ                |
| ②はじめの言葉(5年生)            | ⑩みんなで歌いましょう「少年時代」(全員)   |
| ③音楽劇「山のおんがくか」(1年生)      | ⑪合奏「崖の上のポニョ」(教職員)       |
| ④合奏「アンダルコのうた」(2年生)      | ⑫合唱「マイバラード」             |
| ⑤音楽劇「力太郎」(2・3年生合奏)      | 「チョップスティックス」(5年生)       |
| ⑥リコーダー奏「エーデルワイス」(3年生)   | ⑬合唱「明日があるさ」             |
| ⑦歌「にじ」合奏「パフ」(4年生)       | 「めぐる季節」(6年生)            |
| ⑧合奏「茶色の小びん」(4・5・6年生)    | ⑭和太鼓奏「ぶち合わせ太鼓」(4・5・6年生) |
| ~休憩~                    | ⑮エンディング「Believe」(全校生)   |
|                         | ⑯おわりの言葉(6年生)            |

## 船坂老人クラブ新年会

年中行事の1つ老人クラブ新年会を1月13日(金)54名の参加者で行う事ができました。

画像削除

坂田会長より年頭の挨拶として、「皆様方もそれぞれに夢を持ち明るく楽しい日々の暮らしを」と励ましの言葉を頂き、最高年齢の尾崎春治様による乾杯の音頭で和やかな雰囲気の中で会食が始まりました。色々の積もる話に花が咲き、賑やかな笑顔のあふれるひとときの中、ビンゴゲームも楽しみました。

会員の皆様、これからも様々の行事に多数の参加をお願いいたします。(中西博子)

PENNY LANE



ガレージ&カフェ ペニーレーン  
〒651-1423 西宮市山口町船坂字北谷206  
TEL (078) 904-0617 FAX (078) 907-2340  
<http://www.penny-lane.jp/>



株式会社キューコーポレーション

〒665-0051 宝塚市高司1-1-16ホワイトプラザ2F  
TEL: 0797-73-0041 MOBILE: 090-3999-0041  
FAX: 0797-73-4100 E-mail: cue41@nifty.com  
代表取締役 穂松 穂晶

知る人ぞ知る隠れ家レストラン



癒しの森のガーデンカフェレストラン Alice  
〒651-1423 西宮市山口町船坂1626  
TEL 078(904)2603



## 船坂小学校存廃問題説明会開かれる

1月25日(日)午後1時30分から、小学校のランチルームで西宮市による船坂小学校存廃問題説明会が行われ、30数名の地域の人々が参加しました。市からは教育委員会と企画・都市計画の担当者が出席されました。

教育委員会からの説明要旨は次のとおりでした。

「船坂小学校の現状は、児童数40名の内、善寺学園32名、地元8名という比率となっており、教職員が必死に頑張っても学校での教育は限界に来ている。2～3年先にはさらに地元の比率が低くなり学校での教育が維持できない。船坂の子どもたちの学習活動を保障するために早急に統廃合による教育改善が必要である。そのために、平成21年3月市議会に学校条例を改正し、平成22年3月で廃校、22年4月から山口小学校へ通学してもらう。転校時在学児童の交通費は全額補助する。スポーツ21は地元意見を尊重、学校の建物などは一旦残しながら活用方法を検討したい。」

これに対して10数名の人たちから多くの質問・意見が出ました。市は、「参考にする」と答えましたが、廃校の基本方針は変わりませんでした。以下の( )は、市の答弁要旨。

- ・現在の5年生以下のPTA6人中、半数の3名が反対している。(ご理解を)
- ・学園の子ども32名が路線バスで通学する時、逃避行する子がでないかなど心配。通学バスを出してほしい。(通学バスは出せない)
- ・学園の子が、規模の大きい山口小でうまく馴染めるかが大変心配だ。船坂小は、小規模で行き届いた教育ができる。幼児期に家庭崩壊を経験した学園の子ども達が、山口小でバラバラのクラスに入ると差別を受けないか？(そういうことのないよう努力する)
- ・交通費補助の対象を限定しないで、将来通学する子にも支給すべきだ。(対象は限定)
- ・3月市会に提案するというが、自治会が行う住民投票の結果は反映してもらえるのか。(参考にする)
- ・船坂小学校は休校ということにはできないのか。(全国的に例はあるが、休校にはしない)
- ・学校は地域の発展と表裏一体のもの。市は、早急に船坂のまちづくりに取り組み、地域の子どものが増えるような施策を行えば廃校しなくていいはずだ。船坂小の適正規模は1学年何人？(教室の大きさから1学年15名以下が適正。)
- ・低学年、幼児、乳児の3人の子の母親だが、3人の子を6kmも離れた山口小に通学させるのは悲しい。(ご理解を)
- ・今の船坂小の教育環境は大きな問題がある。住民に存廃意向を問うときにはその問題点を明示してもらい、「問題を抱えたままの船坂小で大事な6年間を過ごすことになる」ことの重みを充分認識して回答してほしい。(取材：池田壺和)



珈琲ベルグ



〒651-1423  
兵庫県西宮市山口町船坂1648  
Tel 078-903-1172



株式会社 西宮高原ゴルフ倶楽部

〒651-1423 西宮市山口町船坂2013  
TEL (078) 904-3741(代) FAX (078) 904-3811  
<http://www.nishinomiyakogen-gc.com>



西洋料理/船坂

西宮市山口町船坂字北谷216番地  
Tel/Fax 078-903-1158

# 船坂がたり!!

前号に引き続き、平成16年にさくらFM放送で話された小櫻節雄さんの話の中から、船坂が明治維新に西洋の文明をいち早く開花させた頃のお話を紹介します。

## 第二回 船坂と勤皇の志士たち

船坂が有馬街道の街道筋に位置することは有名ですが、幕末に勤皇の志士たちが幕府の目を避けてここを通っていたことは、あまり知られていません。

幕末の頃、薩摩・長州・土佐藩の勤皇の志士たちは、京都への往来に本街道である西国街道を避けていろんな間道を通っていました。その中の一つとして、今津の浜に上陸して廣田の森を抜け鷲林寺から峠を越えて船坂に降りて来る道（裏山陽）も間道として使っていたようです。

その当時、船坂に近郷でも庄屋として名をなしておられた平井佐右衛門という方が住んでおられました。その平井佐右衛門さんは、勤皇の志し厚く、苗字帯刀を許された庄屋さんでありました。ある日の夜半、間道を通ってきた数名の志士たちが、庄屋さんの家の門戸を叩き身の安全を求めてきたので、志士達の身の危険を感じ、しばらくかくまったことがありました。その中の一人に長州藩士岡本貢という志士がいました。勤皇の志士たちは、早く京都へ行かねばならず、いつまでもかくまってもらうわけにはいかないので、平井さんと相談の上で、船坂から山口を通り三田の後川郷に出て亀岡街道を経て京都の北側へと入って行ったそうです。



伊藤博文（明治5年頃）

後に明治の新政府が誕生し、明治5年（1872年）初代の兵庫県令に伊藤博文が赴任したとき、岡本貢も初代の兵庫県大書記官（裁判長）として赴任してきました。大書記官の職に就いた岡本貢は、時の恩人であった平井佐右衛門を初代の有馬郡長に任命し、船坂に郡役所を置きました。平井佐右衛門は、有馬郡長として郡内の村々や周辺の土地の為に大いに尽力されました。郡役所の建物は「倶楽部」と呼ばれ、昭和40年頃まで村人や青年たちの集会所として大切に使われ、船坂公会堂の源となりました。

ました。

その建物は、その後、某会社の借上社宅として使われ昭和59年頃まで存在していました。

明治の初めに「倶楽部」というハイカラな呼び名がついたということは、当時交通不便な山里であった船坂にもかかわらず、いち早く文明開花の風が吹いていた証であり、翌・明治6年2月1日に船坂小学校が開校したことからそのことがうかがわれます。（次号に続く）

## 編集後記

今年こそはのんびりと思いつつも2月になってしまいました。先日も船坂の20人ほどの方と出かける機会があり船坂新聞に興味をもっていただいているようで大変うれしく思います。（黒木 富美子）

第5号の発行となりました。一層、楽しみにしていただける新聞をめざして活動したいと考えています。記事ネタや感想をお聞かせください。



（平井 雅博）



社会福祉法人 児童養護施設 善照学園

子育て支援・相談・出前保育 西宮市山口町船坂2128-1  
子育てに関することなんでもどうぞTEL078-904-3773  
一緒に学び考えましょう。(無料) FAX078-903-2171

株式会社 古材間屋



〒651-1423 兵庫県西宮市山口町船坂280番  
TEL: 078-903-5314 (コザイヨ)  
<http://www.kozaidonya.com/>

船坂新聞倶楽部からのお知らせ

広告好評のため4月号から1ページ当り3つの広告欄と致します。2・3月号は、それに先立ち1ページ3つの広告欄に変更致しました。



がんばってます！！

## 民家再生プログラムー古民家族

武庫川女子大学生活環境学科の学生を中心とするボランティアの手で  
自力修復する古民家再生プロジェクトの紹介です。

場所は自治会 5 班にあります。

こんにちは！私たちは古民家族と言います。毎月第三日曜になると作業服やジャージを着た集団が歩いていたりしたので知っておられる方もいるかと思えます。昨年「船坂ふれあい広場」にも参加させていただきましたのでそちらでお話した方もおられると思えます。{いつも近隣の方にはご迷惑をおかけしています。}



私たちは築 180 年ほどになるろうという茅葺き屋根の民家、坂上邸をボランティアで修復しています。この活動が始まったのは、2 年前武庫川女子大学 4 回生の佐藤さんが船坂にある古材問屋さんを訪れたところから始まります。そのとき解体を依頼された古材問屋さんは、茅葺きの家が消えていくことに危機を覚えていました。ちょうどその頃、古材問屋に買い付けに来た河原工房の古民家に詳しい方に見てもらおうと、坂上邸の古民家の中でもその形式の重要性を指摘



し、この家を残そうという動きが始まりました。

それからは試行錯誤、暗中模索な日々を越え、活動も 2 年を向かえ来月からは 3 年目を迎えます。今まで解体や修復をしてきましたが、来月、再来月の活動は私たちにとって待ちに待ったビックイベント「茅の葺き替え」をします。

私たちだけでなく、船坂の人たちにもこの茅の葺き替えに参加していただけたらと思います。

私たちの今までの活動は、『古民家族』で検索していただく

HP がありますので是非見てみてください□

また、参加希望や疑問質問は [info@kominkazoku.jp](mailto:info@kominkazoku.jp) までお願いします！ 皆さんの参加をお待ちしております！

(投稿 武庫川女子大学生：木下)

## 船坂カレンダー 2009. 2/8 ~ 2009. 3/8

2009. 2 月

2009. 3 月

8	9	10	祝 11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	1	2	3	4	5	6	7	8	バレー 水 19:30
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	テニス 土日 9:00
自治会定例会							やまなみバス説明会 みそ作り講習会	老人クラブ定例会					老人クラブ観劇会			老人クラブ役員研修会					お琴演奏会(ヘルグ)						自治会定例会	水 9:30 クォーター テニス 第2・4土 19:30 グランドゴルフ 水金 13:30 ヨガ 月 10:00 火 19:30	

## 企業スポンサー大募集！！

船坂新聞に広告を出しませんか？

期間：平成21年4月～9月（6ヶ月間）  
500円/月（半年契約）

お問い合わせはメールにて  
mail:funasaka.moriagetai@gmail.com

皆様の広告料は船坂新聞の発行に使わせて頂きます。  
地域活性化の為に皆様のご協力、よろしくお願い致します。

広告枠は12社です。3月14日までに承ります。